



# 令和8年産 気仙沼・南三陸 稲作情報 第2号

令和8年6月11日発行  
宮城県米づくり推進気仙沼地方本部・宮城県気仙沼農業改良普及センター  
TEL 0226-25-8068 FAX 0226-22-1606

- 水深3cm程度の浅水で管理し、有効茎数確保まで分けつの発生を促しましょう。
- 雑草の発生が多い場合は、中・後期剤による除草を行いましょ。
- 補植用残苗は、いもち病の発生源になるので、速やかに処分しましょう。

## 1 気象の概況

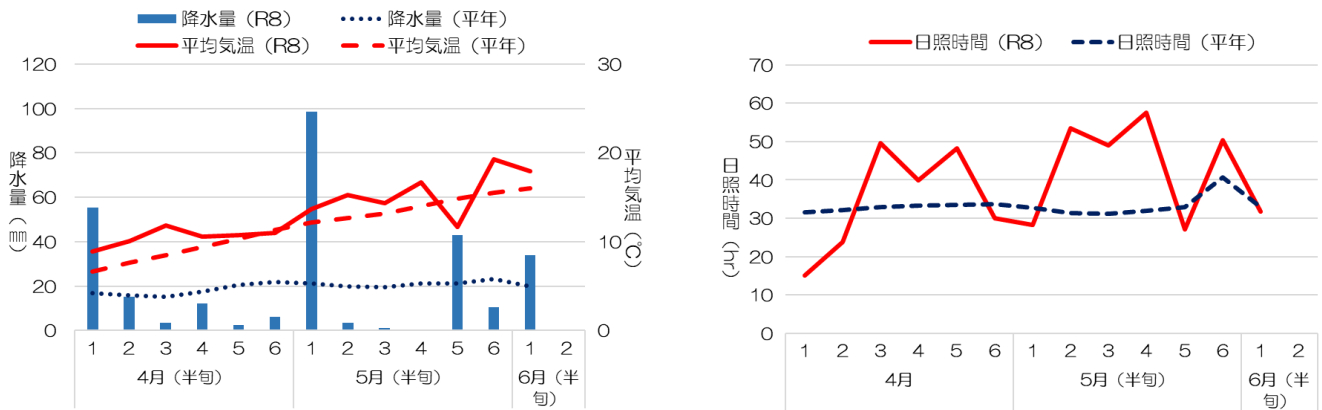


図1 気象経過図（気仙沼アメダス、半旬ごと）

## 2 管内の田植えの状況

### (1) 育苗状況

4月は風の強い日が多く、育苗用ハウスに被害が見られたところもありましたが、苗はおおむね順調に生育しました。

### (2) 田植え状況

田植盛期は前年及び平年より3日早い5月15日となりました。田植え期間中にも風の強い日がありましたが、順調に田植えが進みました。

表1 田植えの状況

気仙沼管内全体	田植え状況		
	始期	盛期	終期
R8	5/10	5/15	5/27
前年差	1日遅い	3日早い	平年並み
平年差	平年並み	3日早い	平年並み

※「始期」は作付見込面積の5%、「盛期」は50%、「終期」は95%が進行した時期  
※「平年差」は前5か年の平均値との差

### 3 水稲生育調査ほの生育概況（6月10日調査）

- ・今年の前年より11日遅い田植えとなり、田植え後に最高気温が20℃に達しない日が続いたことなどから、草丈、茎数ともに前年を下回って推移しています。

表2 生育調査結果（6月10日調査）

品 種 地区名	年	田植日	栽植密度 (株/m <sup>2</sup> )	植付本数 (本/株)	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉色値 (GM)
ひとめぼれ	R8	5/25	18.2	5.4	21.2	118.3	—
気仙沼市本吉町	前年比・差	+11日	94%	142%	80%	40%	—

※葉緑素計（グリーンメーター）による葉色値は、葉の幅が狭く測定不能

### 4 今後の栽培管理

#### （1）水管理

- ・田面が露出しているほ場が散見されます。活着後は水深3cm程度の浅水で管理し、分けつの発生を促しましょう。
- ・低温（平均気温が概ね14℃以下）や強風が予想される場合には、5～6cm程度の深水としましょう。
- ・生わらや牛ふん堆肥等の有機物を多用している水田では、気温の上昇とともに有機物の分解が盛んになり、還元状態となるため、稲に有害な硫化水素等のガスが発生しやすくなります。中干しや一時的な落水などで土壤中に酸素を供給し、根腐れを防ぎましょう。

#### （2）雑草防除

- ・初中期一発剤を散布したほ場でも、水持ちが不十分だったり、埋土種子や多年生雑草の塊茎などが多いと雑草が発生してきます。生長が進むと除草剤の効果が得られなくなるため、雑草の種類や葉齢を確認し、必要に応じて中・後期剤を適期に施用しましょう。
- ・また、湛水条件下で散布する除草剤の場合は、田面が露出しないよう水を張り、除草効果を持続させるためにも、散布後7日間程度は入水や落水は行わないようにしましょう。
- ・ヒエ類やイヌホタルイ等の雑草は、稲の出穂前に斑点米カメムシ類を水田に呼び寄せます。雑草対策を徹底し、斑点米による落等を防ぎましょう。

#### （3）病虫害防除

##### ① いもち病

- ・補植用の残苗は、本田でのいもち病の発生源となります。6月に入っても残苗のあるほ場が散見されますので、速やかに処分しましょう。
- ・箱施用剤による予防防除を行っていない場合は、水面施用剤（粒剤、パック剤）を初発の6月中旬頃までに散布しましょう。
- ・箱施用剤等による予防防除を実施した場合でも、発病が見られたときは、速やかに茎葉散布剤で防除してください。
- ・葉いもちは、直接収量や品質に影響を及ぼす穂いもちの伝染源となります。予防防除が基本であり、発病が進展してからの防除では十分な効果が期待できないため、水田をこまめに見回り、早期発見と早期防除に努めましょう。

※発生予報については、宮城県病害虫防除所が公表している「葉いもち感染好適条件の出現状況（BLASTAM（ブラスタム）」も参考にしてください。



宮城県病害虫  
防除所  
BLASTAM

#### 【BLASTAMとは】

アメダスデータを基に葉いもち感染好適日を推定するシステムモデルです。いもち病の胞子が発芽、感染するためには次の条件が必要です。

- 1 葉面湿潤時間が 10 時間以上
- 2 葉面湿潤時間中の平均気温が 15℃～25℃
- 3 前 5 日間の平均気温が 20℃～25℃

これら 3 つの条件が全て満たされると、いもち病の感染に好適な条件となります。感染好適条件が連続し県内広域で出現した場合、約 2 週間後に葉いもちの発病の増加が始まります。水田を見回り、発生に注意してください。

## 5 乾田直播栽培（6月10日調査）

### （1）調査ほでの生育状況

- ・苗立率は、前年より高い 75.6%となりました。
- ・4 月から 5 月にかけて平均気温がおおむね平年を上回り、草丈、莖数ともに前年を上回りました。

表 3 生育調査結果（6月10日調査）

品 種 地区名	年	播種日	苗立率 (%)	草丈 (cm)	莖数 (本/m <sup>2</sup> )	葉色 (GM)
ひとめぼれ	R8	3/25	75.6%	20.2	109.1	—
気仙沼市本吉町	前年比・差	－2日	112%	108%	127%	—

※葉緑素計（グリーンメーター）による葉色値は、葉の幅が狭く測定不能

### （2）今後の栽培管理（基本的な栽培管理は、前述「4 今後の栽培管理」参照）

- ・雑草の発生状況を確認し、雑草が小さいうちに除草剤を散布しましょう。
- ・除草剤の選定に当たっては雑草の種類や葉齢、使用時期を確認し、適正に使用しましょう。
- ・分けつを促進するため、水深を 2～3 cm の浅水管理としましょう。

## 6 向こう1か月の天候の見通し 東北地方（6／6～7／5）

（令和8年6月4日 仙台管区气象台発表）

### 【予報のポイント】

- 気温は1週目は低く、2週目は高く、気温の変動が大きいです。
- 東北太平洋側では、低気圧や前線の影響を受けやすいため、向こう1か月の降水量は平年並か多いでしょう。

### 【向こう1か月の天候】

- 期間の前半は、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

### 農作業における熱中症等対策について

#### 4／1～6／30は熱中症等対策研修強化期間です！

#### 熱中症対策① 休憩、水分・塩分補給と対策アイテムの活用

こまめに休憩、水分・塩分補給をしましょう。塩分・糖分を含むスポーツドリンクが最適です。

熱中症対策としてファン付きウェアや冷却ベストが有効です。



（参考）  
熱中症対策（農林水産省）

#### 熱中症対策② 農作業の省力化・軽労化

熱中症等の夏の農作業リスクを低減するためには農作業を省力化・軽労化することが有効です。スマート農業技術や農業サービス事業者の活用等を検討しましょう。

### 宮城県農薬危害防止運動実施中（6／1～8／31）

- ① 農薬容器のラベルをよく読みましょう
- ② 土壌くん蒸剤を使用した後の適切な管理をしましょう
- ③ 住宅地等で農薬を使用する際には、周辺への配慮及び飛散防止対策をしましょう
- ④ 農薬の保管管理を徹底しましょう



（参考）農薬は正しく使用  
しましょう（宮城県農政部  
みやぎ米推進課HP）

（次回の稲作情報第3号は、6月22日頃の発行を予定しています。）